


猫へモプラズマ (*Mycoplasma haemofelis*・*haemominutum*・*turicensis*)

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
猫へモプラズマ遺伝子★	 全血 (EDTA 処理) 0.4mL	 常温 冷蔵	4日以内	PCR	<ol style="list-style-type: none"> 猫に感染が報告されている3種類の猫へモプラズマ (ヘモフェリス、ヘモミニタム、ツリセンシス) を検出します。 検査対照 (内在性コントロール) として血液中の FG3PDH 遺伝子の検出も同時に行います。この遺伝子はへモプラズマの感染に関わらず、すべての猫の血液から検出されるため、今回の受託に際して適切な材料が適切に処理されたか (特に凝固サンプルの際に DNA 抽出が適切に実施できたか) をチェックすることができます。


トキソプラズマ (*Toxoplasma gondii*)

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
トキソプラズマ抗体	 血清 (血漿) 0.05mL	 常温 冷蔵	4日以内	ELISA	<ol style="list-style-type: none"> 生後2ヶ月間は移行抗体が検出されることがあります。 本検査は帯広畜産大学原虫病研究センターのご協力をいただいております。

狂犬病

▶犬の感染症28ページを参照してください。

フェレットコロナウイルス遺伝子検査

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
フェレットコロナウイルス遺伝子検査	糞便	 冷蔵	4日以内	逆転写 ポリメラーゼ 連鎖反応 (RT-PCR)	<p>フェレット流行性カタル性腸炎コロナウイルス (FRECV) とフェレット全身性コロナウイルス (FRSCV) を区別して検出いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> FRSCVとFRECVを区別するプライマーは最も変異の多いS遺伝子領域をターゲットとしているため、遺伝子変異などによりまれに両ウイルスを区別できないことがあります。その場合はフェレットコロナウイルスの検出のみのご報告となります。 弊社検査依頼書が未対応であるため、犬または猫の臨床検査依頼書の備考欄に「フェレットコロナウイルス遺伝子検査希望」とご記載ください。

※ 所要日数：受付日を0日とした営業日換算 (土日祝は含みません)。

※ 検査料金：消費税別、会員料金 (非会員の場合、検体当たり 2,000 円の取り扱い手数料がかかります)。